



第34号

【発行】

社会福祉法人
秋田県社会福祉事業団

〒010-1412
秋田市御所野下堤五丁目1番地の1
TEL 018-889-8360 FAX 018-889-8361
HP <http://www.fukinoto.or.jp>
e-mail mail@fukinoto.or.jp



北部老人福祉総合エリア 20周年記念祭 (令和元年8月12日)

【目次】

- P 6
 - ・ 事業紹介
 - ・ 心身障害者コロナー就労継続支援事業
 - ・ 表彰
- P 5
 - ・ 施設紹介
 - ・ 放課後等デイサービスぐんぐん
- P 4
 - ・ 新規採用職員紹介
- P 3
 - ・ 平成30年度決算・事業報告
- P 2
 - ・ 心身障害者コロナーあじさい棟
 - ・ 行動障がい支援への取り組み
 - ・ 実践発表会及び
 - ・ 基調講演の開催について

ホームページからも
閲覧できます。
詳細は、コチラから↓



★★★FACEBOOK随時更新中★★★



心身障害者コロニーあじさい棟

行動障がい支援への取り組み

秋田県心身障害者コロニーは障害者支援施設として、高齢者棟、施設内診療所に隣接した医療ケア棟、就労継続支援B型を利用して、いる方が主に生活している棟、精神障がいや重複する方々を支援する棟など様々なニーズや個々の障がい特性に応じた支援体制でサービス提供をしています。

その支援体制に、新たに強度行動障がいを示す方への専門的なサービスを提供する「あじさい寮」(男子寮) 施設入所支援 定員12名、生活介護 定員15名)を開設しました。「あじさい寮」の施設入所支援による利用については、国が実施した強度行動障害特別処遇事業を参考に、3年の期間を設定し支援を実施することとしています。

開設までには、平成28年度に施設内に設置した「強度行動障がい等対応に向けた施設整備ワーキンググループ」での検討を踏まえ、専門職育成のための先進施設での研修や実践を通して職員のスキルアップを図るとともに、利用者の方が安心・安全に生活していた、できるだけ居室や作業活動棟を中心に改修し、スプリングクロー設備の整備を行いました。

また、昨年度開始した生活介護サービスの提供で得られた様々なノウハウを、今年度ス



タートした施設入所支援サービスにフィードバックすることで、利用者の方の特性に合わせて一日を通じた支援プログラムを計画することができ、よりきめ細かい対応を図ることが可能となっています。

現在、構造化や応用行動分析など有効とされる手法に加え、法人として委託している支援アドバイザーからの助言により、「対象となる行動が起きた時にどう対処するかではなく、何が原因で起きているのかに着目する」、「行動を止めさせるのではなく、しっかりと背景を探る」という視点での支援が職員に浸透してきました。これによりオーダーメイドの支援が提供できるようになり、生活のリズムが整い、突発的な行動が減少するとともに安定した生活が送れるようになってきています。今後も利用者の方が安心して充実した生活を送っていただけよう支援に努めたいと思います。

また、今年度に入り地域にお住いのご家族から直接ご相談をいただいたり、県内外を問わず各方面からお問い合わせいただく機会が増えてきました。今後は行動障がいのある方への適切な支援を行う人材育成のため、体験研修プログラムの作成を進めていきたいと考えております。



実践発表会及び

基調講演の開催について

平成二十七年から取り組んでいる実践発表会及び基調講演は、今年度で五回目となります。毎年ご好評いただいている基調講演には、今年度、宮本恵美氏(社会福祉法人みぬま福祉会川口太陽の家 工房集管理者)をお招きし、講演していただく予定です。どなたでも無料で聴講可能ですので、皆様お誘い合わせの上お越しください。



令和元年度実践発表会及び基調講演のご案内

1.日時～12月12日(木) 午後1時10分

2.場所～秋田拠点センターAL☆VE
秋田市民交流プラザ2階
多目的ホール

3.申込・お問い合わせ先～

電話：018-889-8363
秋田県社会福祉事業団 事業推進課
※詳細は、当法人ホームページでも公開しておりますのでご覧ください。

平成30年度 決算・事業報告

平成30年度 事業報告概況

(一) 県有施設等の経営

秋田県心身障害者コロニー等3施設は秋田県から無償借受を継続、北部・中央・南部老人福祉総合エリア、やまばと園等6施設は指定管理者として適正な経営に努めました。

(二) 自主設置施設の経営

秋田県から譲り受けた高清水園、阿根園等3施設及び自主設置した由利本荘地域生活支援センターを経営するほか、老朽化した秋田県身体障害者更生訓練センターを引き継ぐ障害者支援センター御所野の建築工事を平成三十年五月から着手し、平成三十一年三月完成しました。

(三) 強度行動障がいに対応したサービスの充実

秋田県心身障害者コロニーでは、強度行動障がいに対応した個室スペースの確保など居住空間を改善することにも、スプリングクローを整備し、令和元年度から施設入所サービスを開始することとしました。また、高清水園においても、自閉症、強度行動障がい等への専門的な支援の構築に向け、自立課題への取組や作業スペースの構造化により、個別課題の充実に努めました。

(四) 給食の外部委託

調理員の確保が課題となっており、令和元年度から段階的に外部委託を進めることとし、平成三十年十二月に高清水園、障害者支援センター御所野、やまばと園において、プロポーザル方式により業者を選定しました。

(五) 障がい児に対する専門的なサービスの提供

阿根園では、秋田県南地区で唯一の障害児施設(定員5人)として、日常生活の充実や社会生活への適応を高めるため、専門性の高いサービスの提供に努めました。また由利本荘地域生活支援センターでは、放課後等デイサービスの利用者が増加し、新たな事業所を確保し、整備しました。

(六) 正規職員採用

平成三十一年四月一日付で福祉職14名、看護師3名を採用。令和元年七月一日付で看護師1名中途採用しました。

(七) 非正規職員の待遇改善

入所施設の支援員の欠員が常態化しており、職員の確保と職場定着を図るため、賞与を増額するための規則改正を行いました。

(八) 継続雇用職員の活用

定年退職後も引き続き活躍できるような、経験・ノウハウを生かせる職務の開拓や多様な働き方を選択できる環境づくりを進め、サービス管理責任者や相談支援専門員等の専門職への配置ができるよう、就業規則の改正を行うとともに、給与についても改善を行いました。

貸借対照表

平成31年3月31日現在

(単位：円)

	資産の部			負債の部			
	当年度末	前年度末	増減	当年度末	前年度末	増減	
流動資産	1,644,181,687	1,742,909,186	△ 98,727,499	流動負債	429,718,030	462,014,123	△ 32,296,093
固定資産	5,681,229,744	5,383,976,850	297,252,894	固定負債	654,377,873	613,388,185	40,989,688
				負債の部合計	1,084,095,903	1,075,402,308	8,693,595
				純資産の部			
基本財産	2,811,856,712	2,113,736,925	698,119,787	基本金	10,000,000	10,000,000	0
				元入金			
				国庫補助金等特別積立金	1,601,116,428	1,672,572,739	△ 71,456,311
				その他の積立金	1,991,718,692	2,391,201,814	△ 399,483,122
その他の固定資産	2,869,373,032	3,270,239,925	△ 400,866,893	次期繰越活動収支差額	2,638,480,408	1,977,709,175	660,771,233
				(内当期活動収支差額)	(261,288,111)	(231,572,182)	29,715,929
資産の部合計	7,325,411,431	7,126,886,036	198,525,395	純資産の部合計	6,241,315,528	6,051,483,728	189,831,800
				負債及び純資産の部合計	7,325,411,431	7,126,886,036	198,525,395

資金収支計算書

(自)平成30年4月1日 (至)平成31年3月31日 (単位：円)

勘定科目	決算
事業活動による収支	
事業活動収入計	4,674,934,001
事業活動支出計	4,321,278,543
事業活動資金収支差額	353,655,458
施設整備等による収支	
施設整備等収入計	0
施設整備等支出計	815,950,296
施設整備等資金収支差額	△815,950,296
その他の活動による収支	
その他の活動収入計	891,398,665
その他の活動支出計	490,798,301
その他の活動資金収支差額	400,600,364
予備費支出	
当期資金収支差額合計	△61,694,474
前期末支払資金残高	1,400,318,867
当期末支払資金残高	1,338,624,393

事業活動収支計算書

(自)平成30年4月1日 (至)平成31年3月31日 (単位：円)

勘定科目	決算
サービス活動増減の部	
サービス活動収益計	4,659,502,260
サービス活動費用計	4,411,078,106
サービス活動増減差額	248,424,154
サービス活動外増減の部	
サービス活動外収益計	17,341,096
サービス活動外費用計	791,244
サービス活動外増減差額	16,549,852
経常収支差額	264,974,006
特別増減の部	
特別収益計	0
特別費用計	49,095
特別増減差額	△49,095
税引前当期活動増減差額	264,924,911
法人税、住民税及び事業税	3,636,800
法人税等調整額	
当期活動増減差額	261,288,111
繰越活動増減差額の部	
前期繰越活動増減差額	1,977,709,175
当期末繰越活動増減差額	2,238,997,286
基本金取崩額	
その他の積立金取崩額	837,829,118
その他の積立金積立額	438,345,996
次期繰越活動増減差額	2,638,480,408

事業報告・決算の詳細については、当事業団ホームページの「情報公開」からご覧になることができます。

令和元年度 新規採用職員紹介

新規採用職員のみなさんに聞きました！
事業団職員としての今後の抱負

	<p>北部老人福祉総合エリア 管理事業課</p> <p>事務員 東海林 航</p> <p>「ここが一番落ち着く」、「また遊びに来たい」と満足していただける施設運営を心掛けて参ります。諸先輩方々、今後ともよろしくご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。</p>
	<p>高清水園 管理課</p> <p>看護師 佐々木 由美子</p> <p>個性豊かな利用者さん、職員と楽しく仕事をさせていただいています。みんなが元気に笑顔で過ごせるよう、知識・経験を重ねていきたいです。よろしくお願ひいたします。</p>
	<p>高清水園 支援課</p> <p>支援員 軽部 由紀子</p> <p>経験したことがない事が起きる毎日ドキドキ、ドギマギしています。そんな時、利用者さんが笑顔でいてくれるとホッとします。私もホッと安心を与えられる職員になりたいです。</p>
	<p>高清水園 支援課</p> <p>支援員 渡部 尚</p> <p>まだまだわからない事だらけですが、みなさんが笑顔で毎日を過ごせるように、チームの一員として日々精進していきたいと思ひます。</p>
	<p>心身障害者コロニー 支援部地域支援課</p> <p>支援員 藤原 完吾</p> <p>コロニーに配属となり早くも半年が経過しましたが、日々勉強の毎日です。利用者様の安心と豊かな生活の為、日々精進しながら、信頼される支援員を目指し頑張りたいと思ひます。</p>
	<p>心身障害者コロニー 支援部創生支援課</p> <p>支援員 加藤 貴裕</p> <p>三月まで高清水園の契約職員として7年間勤務してきました。この経験を活かしつつ、新たに学びながら利用者さんが安心して生活できるように支援していきたいと思ひます。</p>
	<p>心身障害者コロニー 支援部創生支援課</p> <p>支援員 佐藤 和也</p> <p>先輩方のご指導や、利用者さんの明るさにも支えられ、早くも半年が経ちました。利用者さんに寄り添った丁寧な支援ができるようこれからも努めていきたいと思ひます。</p>
	<p>心身障害者コロニー 支援部創生支援課</p> <p>支援員 菊池 昇博</p> <p>四月より銀杏支援課に配属となりました。分からない部分は聞きながら、そして、これまでの経験を活かしながら、利用者さんが充実した生活を送れるよう努めていきたいと思ひます。</p>
	<p>心身障害者コロニー 支援部銀杏支援課</p> <p>支援員 佐藤 彩乃</p> <p>利用者さん一人ひとりととの関わりを大切にし、相手の気持ちを尊重できるような支援を目指していきたいです。笑顔と挨拶を忘れずに頑張りたいと思ひます。</p>
	<p>心身障害者コロニー 支援部赤光支援課</p> <p>支援員 佐藤 綾香</p> <p>利用者の皆さんと関わらせて頂く中で毎日多くのことを学ばせて頂いております。少しでも利用者の皆さんが安心して楽しく生活が送れるよう笑顔忘れず支援していきたいと思ひます。</p>
	<p>心身障害者コロニー 診療所</p> <p>看護師 坂爪 幸恵</p> <p>豊かな自然に恵まれた環境で、利用者さんが生き生きと生活できるよう、優しく笑顔忘れずに、心に寄り添った温かいケアとサポートに努めていきたいと思ひます。</p>
	<p>心身障害者コロニー 診療所</p> <p>看護師 佐藤 絵美</p> <p>五感そして第六感を生かして利用者さんに関わり、わずかな変化に気づき健康をサポートできるように心掛けています。初心忘れるべからずの精神で努めて参ります。</p>

	阿波園 支援員 米谷京子 支援課
	支援員 松田亜由美 支援課
	支援員 堀聖子 支援課
	支援員 伊藤広太 支援課
	看護師 東海林千智 支援課

入職し半年が経ちましたが、毎日が勉強の日々で、先輩職員方に支えていただきながら業務に励んでおります。利用者の皆様が安心して豊かな生活を送れるよう努めて参ります。

やまばと園に採用され早半年が過ぎました。毎日が勉強の連続ですが、まずは利用者の皆さんが安心、安全に過ごしてもらえるよう配慮し、コミュニケーションを大切にしながら信頼関係を築いていきたいです。

先輩職員方、利用者さんに支えられ、出勤を楽しみに思える職場にいられることに感謝しています。この縁を大切に、日々学びながら心地の良い職員になることを目指します。

毎日が勉強の日々で、先輩方に支えて頂きながら業務に励んでおります。自身のスキルアップに努め、利用者さんがより充実した生活を送られるよう日々精進して参ります。

障害者支援センター御所野で勤務する前は、病院勤務をしていました。病院と施設では業務の違いがありますが、これまでの経験を利用者の皆さんに活かしていけるよう頑張りたいと思います。

施設紹介

放課後等デイサービス事業所ぐんぐん

由利本荘地域生活支援センターでは平成28年開所時から放課後等デイサービスと児童発達支援事業の多機能型事業を定員10名でスタートしました。当初児童部門の事業がない地域のニーズは高く、平成30年度には登録数が40名ほどに増え、利用の調整が難しい状態と地域からの問い合わせが多いことへの対応として、平成31年4月に新たに羽後本荘駅そばに二つ目の放課後等デイサービス事業所の開設となりました。

二つ目の事業所開設に合わせ、この事業に通う子供たちが「健やかにのびのび遊び、ぐんぐん成長して行ける場所」でありたいとの願いを込め、支援センターの事業所を「のびのび」、第二事業所を「ぐんぐん」と名付けました。



事業の開始は、放課後の時間帯に各学校へ「ぐんぐん」の車で迎えに行きます。事業所へ到着した後は、ホワイトボードに視覚化した一人ひとりのスケジュールを職員とともに確認し、宿題などの個人学習を行います。宿題を終えると、それぞれの発達に合わせた創作活動や散歩などその日のカリキュラムに合わせた活動をします。「ぐんぐん」利用の児童は、年少児が多いことから特に手指の発達を促す

活動を多く取り入れていきます。建物は羽後本荘駅前にはありますが、大通りから離れていて、近くには児童公園や牛舎があるほか、電車を見たり、カダレの図書館へ出かけたり、子供たちの希望を取り入れながらの散歩コースは、バリエーション豊かで環境に恵まれていいることを実感しています。このように、子供たちとの時間を過ごすうちに保護者のお迎えで終了の時間となります。



事業所内は広くはありませんが、子供たちが制作した季節の壁面装飾の他、レゴブロックやラキューで作った作品が所狭しと棚に飾られカラフルな室内になっています。

8月現在、小学1年生から高等部1年生まで市内の小学校4校、中学校1校、ゆり支援学校から計15名の登録となりました。今後も相談事業所・関係機関と連携を図りながら地域で支援の必要なご家族や子供たちに寄り添い、発達への支援や、子育て家族のサポートができるよう職員の質を深めて参ります。「ぐんぐん」は今日も子供たちの成長を発見しながら、元気な声を響かせています。

事業紹介 心身障害者コロニー就労継続支援事業

秋田県心身障害者コロニーの就労継続支援B型事業では、「果樹」「園芸」「製パン」「開工房」の四部門に分かれて活動を行っており、今回はその中の開工房についてご紹介いたします。

開工房で事業をスタートさせた当初は木工製品の制作を主な作業として行っていました。現在では除雪用の竹製スノーポールの製造販売が主たる作業となっており、市町村や県内各所からたくさんの注文をいただいています。今年4月からは新たな取り組みとして、パソコンのリサイクル作業を始めました。企業や病院等で使用済みになったパソコンを「有価物」として回収し、手作業で解体・分別を行うというものです。環境保全や資源のリサイクルを行うことができると同時に、利用者さんの工賃（給料）の向上にも繋がっています。

パソコン内の情報漏洩対策や、多種にわたる部品それぞれを適切に処理するきめ細やかな作業の甲斐あって、現在は県内約50社ほどの企業や病院、施設等からご理解とご協力をいただき、600台以上のパソコンの回収ができています。



細な手作業であり、集中力を要します。そういった作業を得意とする利用者さんが日々取り組んでおり、作業が「好きだ」「面白いよ」という声も聞かれます。いつも笑顔で楽しみながら作業に取り組んでいます。高齢化が進むなかで、外作業や力仕事ではない場面で利用者さんが活躍できる場が増え、やりがいや生きがいに結び付いているように感じます。

開工房は普段は主に室内での作業が中心となっていますが、各方面へスノーポール販売の営業に向いたり、リサイクル事業においては自ら機器の回収に伺ったりすることで、利用者さんと地域の皆さんとの接点を増やし、利用者さんには社会の一員として働いていることを感じてもらいたいと考えています。

これからも利用者さんにとって楽しく、やりがいのある仕事を提供出来るように、また、生きがいづくりの場として製品生産販売活動を行って行きたいと思っておりますので、皆様ご協力のほど、よろしくお願いたします。

パソコン回収の件でご依頼・お問い合わせの方は左記の連絡先までご連絡下さい。

秋田県心身障害者コロニー 開成支援課
開工房 直通 0184-3314527
担当 野呂



表彰

○秋田県知事表彰（社会福祉功労）
秋田県南部老人福祉総合エリア

支援係長 田中和敏
主査 猪股和香

阿桜園
支援係長 藤原文子
主査 佐野智子

○令和元年度秋田県社会福祉協議会
会長表彰

秋田県社会福祉事業団事務局
主査 田村公陽
主査 佐々木聡

清水園
支援係長 木村英司
主査 宮田史子

秋田県心身障害者コロニー
主査 高橋百合子

主査 熊谷優貴
主査 利部陽子

主査 後藤香織
主査 鈴木綾子

阿桜園
主査 神保明

やまばと園
主査 鈴木美穂子

障害者支援センター御所野
課長 羽川毅郎
主査 石田麻衣子

主査 越後谷和子

受賞おめでとうございました